

AOYAMA 新型防水ソケット

防雨型 66ソケット

特許出願済

特願2008-118963



66ソケット・ベーク
ヒートン無
ES26-02-66

NEW



OPEN

●特徴

- ・従来のピン端子から角端子へ
- ・弓型電線嵌め込み溝により、電線を広げるだけでOK
- ・テーパーにより電線のはめ込みが簡単に行えます



66ソケット・ベーク
ヒートン付
ES26-03-66



66ソケット・ゴム
ヒートン無
ES26-05-66



66ソケット・ゴム
ヒートン付
ES26-06-66

省施工+省コスト

66コネクター（ジョイントボックス）及び防水ソケットは〈PS〉E適合性同等試験合格品です。

発売元  青山電陶株式会社

※ソケットはベーク・ゴム製共に従来の物と変わりません。ガード等従来の物がそのままご使用頂けます。66ソケット・ベークには割ガードをご使用下さい。

66(ロクロク)ソケット

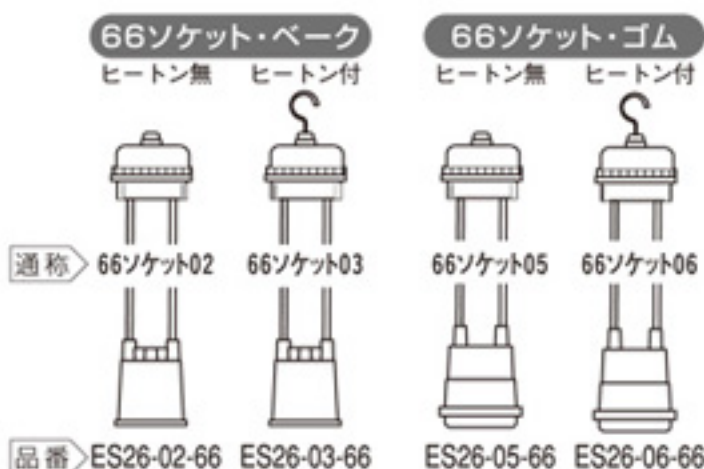
66コネクター付 防水ソケット

取付簡単・省施工時間・省施工コスト

66コネクター(定格:300V 6A)

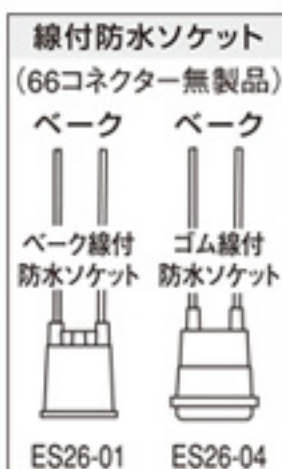
取扱説明書

コネクターに電線を取付ける方法を図示していますので、下図ではソケット及びソケットの電線を省略してあります。



品番 ES26-02-66 ES26-03-66 ES26-05-66 ES26-06-66

ソケットは従来品です。ガード・セードなど従来の物をご使用頂けます。
66ソケット・ベーク(ES26-02-66, ES26-03-66)には割ガードをご使用下さい。



関連製品

適用電線

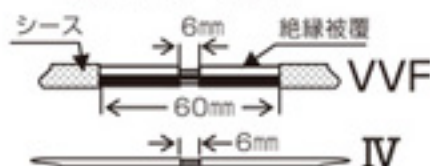
600Vビニル絶縁電線(Ⅳ)、600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル(VVF)
600V耐熱性ポリエチレン絶縁電線、600Vポリエチレンケーブル

適用導体太さ

単線・1.6mm、2.0mm 又は 撚り線・2mm

VVF(Ⅳ)電線への取付説明

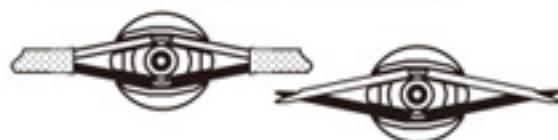
- 1** 取付位置を中心にシースを60mm
絶縁被覆を6mmストリップする。
(図1: 6mmゲージ参照)



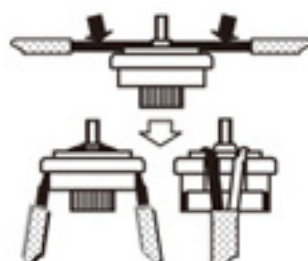
- 2** ストリップした部分をボルトAが
通る程度に曲げて広げる。



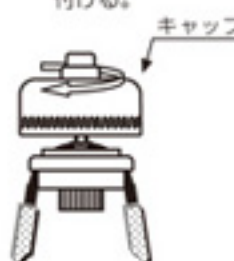
- 3** ストリップした部分をテーパ部分Bに沿って電線を広げ
ながら押し下げ、ストリップした部分とコネクターの端子
の位置を合わせコネクターの溝にはめる。



- 4** ストリップ部分とコネクターの端子の
位置がずれないように電線を図の様に
側面の溝に合わせて曲げる。



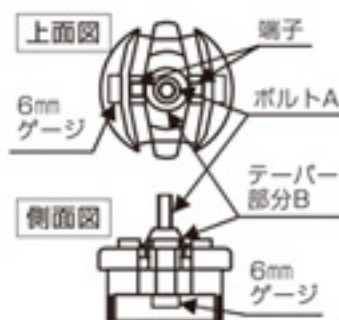
- 5** 手で蓋を回して
ゆるまないように
しっかりと閉め
付ける。



- 6** 図の様に電線を水平位置まで
戻し、取付が完成です。



66コネクター 図1



注意・警告 ▲ 注意する事 ⊖ してはいけない事 ❶ 必ずしなければいけない事

製品について

- ❶ 落下等強い衝撃を与えない事(ひび、欠け、割れの原因)
- ❶ ひび、欠け、割れ等有る製品は使用しない事。
- ❶ 本製品の改造、修理はしない事。
- ❶ 66コネクターをソケットから切り離したり他の目的で使用しない事。
- ❶ 本製品の樹脂などの劣化等により、ひび、欠け、割れ等が現れた製品は
すぐに交換する事。

電球について

- ▲ 電球は100W以下の物をお使い頂き、乾燥用、暖房用など特に高熱に
なる電球は使用しない事。
- ▲ 電球は確実に取付け、緩んだまま点灯しない事。
- ▲ 電球を取付けていないソケットの内側には手を触れない事。
通電中は感電します。
- ▲ 電球の交換は電源を切り、電球とソケットの温度が下がってから
交換する事。(感電、やけどの防止)

その他

- ▲ 必ず本製品仕様書・本取扱説明書の記載事項に従い、安全にご使用
下さい。

施工・設置に際して

- ❶ 電気工事士等の有資格者が施工する事。
- ❶ 電源は、両極とも同種の同じ太さの物を使用する事。
- ❶ 電源電線に接続するときは電線導体が端子に圧接する様、キャップを
きつく(締付トルク: 1.5~1.7N・m)、確実にしめる事。
(発熱・通電不良等を防ぐ為)
- ❶ 屋内、屋外、農業用ハウス内等で、常に多量の水がかからない場所の床上・
地上2m以上で使用する事。
- ❶ ソケットは下向きにして、鉛直の状態で使用する事。
- ❶ 66コネクターは蓋が真上になる状態で使用する事。
- ❶ 電源の中性線はソケットの受金につながる端子に接続する事。
- ❶ 66コネクターは電源電線の端末では使用しない事。
(端末を少し残し、端末処理をする事。)
- ❶ 電線は、曲り、ねじれ等有るものや電線自体又は被覆に傷がついたもの
は使用しない事。
- ❶ 本製品を取り外した後の電源電線は芯線が露出するので取付け位置を変え
ない事。又電線を再使用しない事。
- ▲ ケーブルのシースをストリップする時は絶縁被覆を傷付けない事。
- ▲ 電線の絶縁被覆をストリップする時は芯線を傷付けない事。